

2013年 12月1日 NO.57



# イルカ通信

隔月 1 回発行  
バックナンバーは無料でダウンロードできます  
(下記参照)

## 「初サトウ発見ニュースと遭遇率」

今回の話題は、小笠原のホエールウォッチングの主演であるザトウクジラ。小笠原と同じくザトウクジラの繁殖海域であるハワイからは、10月5日に初サトウ発見のニュースが届きました。小笠原でのシーズン最初の発見がそろそろかなあと思っていたのですが、11月21日に初クジラのニュースが入ってきました。

シーズン最初の発見は、母島の鯨ヶ崎展望台からザトウクジラ1頭を発見したとのことでした。過去2年の記録と比較すると、今年の発見は少し遅かったようですが、今シーズンはどんなクジラ模様になるでしょうか？非常に楽しみです(表1)。

## ザトウクジラの遭遇率 (小笠原)

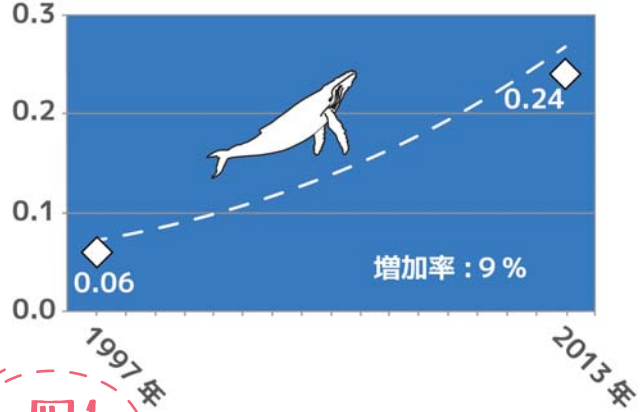


図1

このことから、小笠原の増加率9%という値は、概ね妥当な値だと考えられます。

最新の情報ではザトウクジラの生息数が、ハワイで約10,000頭、沖縄では約700頭と報告されていて、北太平洋全域では約20,000頭と推定されています。小笠原のザトウクジラの生息数も気になるのですが、それを調べるためには定期的に目視調査を実施する必要があります。

ハワイや沖縄ではザトウクジラの個体数が増加したことで、これまで目撃例がなかった場所での発見が多くなり、分布域を拡大しているのではないかと考えられています。また個体数の増加とともに、船舶との衝突や混獲、ストランディングの事例が増えているので、ここ小笠原でも船の航行などにも十分注意する必要があると考えています。ホエールウォッチングの本格的なシーズンはもう少し先となりますが、OWAでは次のような自主ルールに基づくホエールウォッチングを奨励しています。ホエールウォッチングを楽しまれる際は、いつまでも自然なクジラの姿を観察できるように、ご協力をお願いします。

### 【ザトウクジラのウォッチングにあたって】

- クジラの進路や行動を妨げない
  - クジラから300m以内を減速水域とする。
  - クジラから100m以内には、こちらから侵入しない。
- ※自主ルールの詳細については、下記URLをご確認ください。  
<http://www.owa1989.com/watching/rule>

## 各年のザトウクジラ初確認日 (小笠原群島内)

初確認日	場所	頭数
2011.11.10	父島	1 頭
2012.11.16	兄島瀬戸	2 頭
2013.11.21	母島	1 頭

今年の1月、OWAは環境省の助成を受けて目視調査を実施し、主にザトウクジラの分布や遭遇率について調べました。1997年にも同様の調査を実施しており、この2つの調査から得られた遭遇率を比較すると、その値が増加していることが分かりました。1997年調査の遭遇率は0.06、2013年調査の遭遇率は0.24であり、そこからこの期間内の増加率を計算すると、約9%となりました。この結果から、個体数も同程度、増加していると考えられます(図1)。他海域で報告されている個体数の増加率と比較してみると、ハワイでは増加率10%、そして沖縄では11%という結果が得られています。